

令和3事業年度

# 決算報告書

第18期事業年度

自：令和3年4月 1日

至：令和4年3月31日

国立大学法人九州大学

# 令和3年度決算報告書

国立大学法人九州大学

(単位:百万円)

区分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	備考
収入				
運営費交付金	42,204	43,225	1,021	(注1)
施設整備費補助金	2,696	2,642	△53	
うち補正予算による追加	—	5	5	
船舶建造費補助金	—	—	—	
補助金等収入	1,976	6,302	4,326	(注2)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	73	73	—	
自己収入	61,224	66,010	4,786	
授業料、入学料及び検定料収入	10,170	9,911	△258	(注3)
附属病院収入	50,250	54,058	3,807	(注4)
財産処分収入	—	532	532	(注5)
雑収入	802	1,506	704	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	18,508	18,434	△74	
引当金取崩	238	333	95	
長期借入金収入	2,824	2,755	△69	
貸付回収金	—	—	—	
承継剰余金	—	—	—	
旧法人承継剰余金	—	—	—	
目的積立金取崩	3,488	1,026	△2,462	(注7)
計	133,233	140,804	7,570	
支出				
業務費	102,738	103,495	756	(注8)
教育研究経費	52,369	50,156	△2,212	
診療経費	50,369	53,338	2,968	
施設整備費	5,593	5,471	△122	(注9)
うち災害復旧事業	—	5	5	
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	1,602	6,799	5,196	(注10)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	18,508	17,904	△603	(注11)
貸付金	—	—	—	
長期借入金償還金	4,790	4,766	△24	
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	—	—	—	
出資金	—	—	—	
計	133,233	138,436	5,202	
収入-支出	—	2,367	2,367	

○ 予算と決算の差異について

- (注1) 予算段階では予定していなかった前年度からの繰越額を計上したこと及び授業料免除予算等の追加交付により、予算額に比して決算額が1,021百万円多額となっています。
- (注2) 予算段階では予定していなかった地方公共団体からの補助金の獲得に努めたこと等により、予算額に比して決算額が4,326百万円多額となっています。
- なお、本収入には、授業料等減免費交付金が420百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しています。
- (注3) 授業料免除実施額の増による授業料収入の減収等により、予算額に比して決算額が258百万円少額となっています。
- (注4) 診療実績の増加等により、予算額に比して決算額が3,807百万円多額となっています。
- (注5) 予算段階では予定していなかった土地を売却したことにより、予算額に比して決算額が532百万円多額となっています。
- (注6) 予算段階では予定していなかった施設使用料の増収等により、予算額に比して決算額が704百万円多額となっています。
- (注7) 事業実施時期を変更したことにより、予算額に比して決算額が2,462百万円少額となっています。
- (注8) 教育研究費については、(注7)に示した理由等により、予算額に比して決算額が2,212百万円少額となっています。診療経費については、(注4)に示した理由等により2,968百万円多額となっています。
- (注9) 経営努力による事業費の削減や事業の一部を翌年度に繰り越したことにより、予算額に比して決算額が122百万円少額となっています。
- (注10) (注2)に示した理由及び前年度に受け入れた補助金等を財源に事業を実施したこと等により、予算額に比して決算額が5,196百万円多額となっています。
- (注11) 事業の一部を翌年度に繰り越したことにより、予算額に比して決算額が603百万円少額となっています。